



ごろ寝フローリング (標準施工要領書)

フローリングや漆喰のメーカー
アトピッコハウス株式会社
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-6-5
TEL:0467-33-4210 FAX:0467-33-4212
<http://www.atopico.com/> info@atopico.com

無垢フローリング使用の際の免責事項に関して

この度は、ごろ寝フローリングのご採用ありがとうございます。

ごろ寝フローリングは、無垢フローリングです。天然素材の特性によって起こりうる不都合は、免責とさせていただきます。

●天然木本来の伸縮によるもの

天然木は、湿度の増減に伴い、膨張収縮します。また同じ材料であっても、膨張収縮は箇所によって均一ではないことをご承知おきください。

●巾寸法に関して

巾 90mm サイズの製品の場合、±0.5mm までは、材の伸縮による誤差と判断し、許容範囲とします。

●定尺製品に関して

材料を組み合わせて定尺にした製品は、「逆目」の材料が入ることがあり、ザラツキが出ることがあります。但し、徐々に馴染んで気にならなくなります。

●下地の不陸が原因によるもの

下地が平滑でない場合、特定箇所に異常な加重がかかり、床材のへくみ、傷、破損、汚れその他の不具合が発生する可能性があります。

●施工後の「返品」や「クレーム」に関して

万が一納入した商品に品質上の問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。また施工前に仮並べし、施工してください。

●異常な加重や衝撃によって生じる無垢床材の凹み

キャスターなどの重量物によって想定外の異常な加重や衝撃を加えた場合、床材のへこみ、傷、破損、汚れその他不具合が生じる場合があります。また、同様に塗装に関しても想定外の異常な加重・凹みにより塗膜の剥離など不具合が生じる場合があります。

これは、素材の性質上避けられません。異常な加重や衝撃を加えないと同時にキャスターは床材の特性に考慮した構造のものをご採用下さい。

●水を放置したことによるもの

フローリングを水に濡れたまま放置すると、シミや変色、毛羽立ちだけでなく、かびの発生や膨張による膨れや反りの原因となります。また通気性の悪い養生シートを使用すると、表面に毛羽が立つことがあります。

●施工ミスによるもの

標準施工要領に基づかない施工でのフローリング自体へのクレームはもちろん、それに伴うクレーム（張替等）は、一切お受けできません。特に、季節によってスペーサーを使ったクリアランスの確保（巾 100mm 以下で 0.3mm 程度）、巾木下への差し込み、下地合板のクリアランス確保（3mm～5mm）、適した接着剤の使用、糊釘併用の原則などにはご注意ください。また養生テープは、粘着力の弱い床専用のもをお使いください。

●その他、天災等によるもの

上記記述の他、地震・台風・火災等天災に起因するものは免責とさせていただきます。

施工上の注意

●緩衝材について

フローリングは、仕上げ面に傷がつかないように表が内側になるように梱包しています。また表同士の間には、緩衝材として「薄い紙」を挟んでいますが、その「緩衝材」がフローリングに付着してしまうことがあります。その場合は、カッターの刃先などで、付着した緩衝材の端をめくれば、簡単に剥がれます。ヤスリなどで擦ると傷つきますので、ご注意ください。

納品された全てのフローリングに緩衝材が付着していたら交換の対象としますが、一部の場合は、通常範囲内ですので交換対象ではありません。

●無塗装商品について

湿度が高いと、開梱ただけで、室内の湿気を吸収し、表面にザラ付き（毛羽立ち）が出る場合があります。気になる場合は現場にてサンダーし、ワックス（商品名：ミツバチワックス）がけすることをお勧め致します。

●自然塗装品のご注意

自然塗料は、湿気を含むと、しっとりする性質があります。輸送中に湿気を吸収することもあるので、納品後は直ぐに敷き並べてください。施工後、長期間の養生は、湿気の影響を受け、毛羽立ち等が発生する可能性があります。

●ヴォルドーパインについて

ヴォルドーパインは、一般的なパインとは違い、木目が目立ち、やや赤みを帯びた風合いと、ワイルドで荒々しい表情が特徴です。耐久性に優れ、一般的なパインに比べ、傷が付き難い樹種です。もちろん室内にも使えますが、少しラフな材料です。湿気の影響を受けやすいので、梱包を解いたら直ぐに施工してください。直ぐに反り始めるので、じっくり仮置きせず、即、貼って行くことを推奨しています。

●尾鷲ヒノキについて

納品後 1 週間程度で開梱し、空気に触れさせてください。空気に触れない状態で長期間放置すると、ヤニが発生してしまいます。施工後の「返品」や「クレーム」には対応致しかねます。万が一、ヤニが発生してしまった場合は、消毒用エタノールにてヤニを除去することができますが、自然塗料は再塗装が必要な場合がございます。また色が若干変化することがございますが、経年変化の過程で目立たなくなります。

●養生シートについて

湿気がこもると毛羽立ち等が発生することがあるので、養生シートは、紙製などの通気性のあるものをお勧め致します。

ごろ寝が気持ちいい 一番素肌に近いフローリング

ごろ寝フローリング 施工要領書

施工前のご注意ほか

1. ごろ寝フローリングは、直射日光や雨の当たらない場所に水平に置いて保管してください。
2. 無垢材は1枚1枚異なる木目・色合いを持っています。
張り始める前に仮並べをし、色柄のバランスを確認してください。
3. 下張り工法(捨張り工法)をお勧めします。
4. 工事に使用する接着剤は、ゼロホルム接着剤AU-01(アトピッコハウス社製)の使用を推奨いたします。
5. 無垢フローリングは調湿性があるため、湿度の変化に応じて伸縮するので施工する場所の湿度になじませてから施工し始めることをお勧めします。
6. 施工する季節によって、スペーサー(定規等)を使用し、必要に応じて0.3mm程度の適当な隙間を空けて張ることをお勧めします。
7. 無垢フローリングは急激な温度変化に弱い商品です。床暖房の急速な暖房はソリや暴れの原因となりますのでご注意ください。

下地合板の施工

1. 厚さ12mm以上の品質のいい合板を捨張りしてください。合板の継ぎ目は、3mm～5mmの隙間を空けてください。
2. 捨張合板の継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥(交互)に張ってください。
3. 捨張合板はしっかりと根太等に固定させてください。(2重床は無垢材の工法として適していません)
4. 改正建築基準法に適合した合板(その他の下地材)を使用してください。
5. 合板を捨張りしない場合は、不陸がないよう下地調整をキチンと行ってください。

接着剤の塗布

1. ごろ寝フローリングを施工する際には、接着剤と釘を併用してください。
2. 接着剤を使用しない場合、床鳴りの原因となります。
3. 接着剤が実(さね)の中に入らないように注意してください。
4. 改正建築基準法に適合した接着剤（ゼロホルム合接着剤を推奨）を使用してください。
5. 接着剤が床表面についた場合は、速やかに灯油等を含ませた布で拭き取ってください。
6. 接着剤の使用方法は、メーカーの取扱説明書にしたがってください。
（中央部に一列で塗布する場合と、ビート状に塗布する場合があります）

フローリング張り

1. 釘止めは約 300mmピッチとしてください。
2. 釘は 38mm 以上の保持力のある接着剤付きステーブルまたは、スクリュー釘等で施工してください。
（フィニッシュネイル、ブラッドネイルの使用はおやめください）
3. 冬場は夏場のフローリングの膨張を、夏場は冬場のフローリングの収縮を考慮し、スペーサーなどを利用して、隙間を空けて張るようにしてください。
4. フローリングを実(さね)に入れる際、雄実(おざね)に「当て木」を当てて、それを叩いて入れてください。直接叩くと割れの原因となります。
5. 張り始め、張り仕舞(部屋の周辺部等)は、突きつけではなく、差込(巾木下に入れる)施工とし、最低 5 mm 程度隙間を空けてください。
6. 張り込み後は表面保護のため、直ちに防湿養生シートを全面に敷いて養生テープで止めてください。
養生テープは粘着力の弱い床専用のものをお使いください。

ごろ寝が気持ちいい 一番素肌に近いフローリング

ごろ寝フローリング 施工要領書

はじめに

この度は、ごろ寝フローリング（床暖房用）をご採用頂きましてありがとうございます。
床暖房をするなら、無垢フローリングが絶対に安心だし、気持ちがいいです。それに丈夫で長持ちします。
素材の特徴をご理解のうえ、丁寧な施工をお願い致します。

施工前のご注意ほか

1. 熱源体が正しく施工されていることを確認して下さい。
2. 熱源体が正常に作動するかどうかを現場責任者に確認して下さい。
3. 施工面が完全に乾燥状態であることを確認してください。
4. 特に湿気の多い地域での施工は、防水、耐湿対策を十分に実施してください。
5. 床暖房用フローリングは、含水率を低く抑えています。
開梱後は速やかに施工し、施工環境の湿気の影響を受けさせないようにしてください。
6. その他の注意は、通常の施工要領書に準じてください。

下地合板の施工

1. 熱源体と周辺パネルに段差がないか確認して下さい。
段差があると「踏み鳴り」が生じる場合があります。
2. 水漏れしていないか確認して下さい。下地が高含水率の状態では仕上げ材を施工しますと、「突き上げ」「仕上げ材の変色」の原因となります。
3. その他に関しては、通常の施工要領書に準じてください。

接着剤の塗布

1. 床暖房用接着剤を使用してください。ゼロホルム接着剤AU-01（東京ガス床暖房試験合格品）の使用を推奨いたします。（床暖房用接着剤は、木材の伸縮に追随するように作られています）
2. 木工用ボンドなどの水性エマルジョン系接着剤は**絶対**に使わないでください。
3. その他に関しては、通常の施工要領書に準じてください。

フローリング張り

1. 施工前に、ごろ寝フローリングを長時間放置することはおやめください。
2. 根太位置に釘打ちできるように墨出しをし、割付けて下さい。
3. フローリングは根太と直行するように施工してください。
4. 根太への釘止めは股釘等で本根太まで確実に届く長さとし、床暖房用接着剤を必ず併用してください。
5. 熱源体が温水式ハードパネルの場合で、釘打ち禁止エリアと根太位置が重なる場合は、釘打ち禁止エリアを避けて釘打ちして下さい。
6. その他の注意は、通常の施工要領書に準じてください。

床暖房用フローリングの特性

ごろ寝フローリング(床暖房用)は、無垢フローリングながら床暖房に耐えうる商品として加工しているものです。

しかし、床暖房使用時に水分を放出して収縮し、多少の隙間が出来ることがあります。

ただし、夏の休止時には、吸湿して膨張し、ある程度目立たなくなります。

天然木ゆえの宿命とご理解ください。

また、少しの隙間も許容できないという方には、無垢フローリング床暖房用はお勧めできない商品です。

また、温湿度変化に伴う伸縮により、小さな床鳴りが発生する場合があります。

フローリングや漆喰のメーカー
アトピッコハウス株式会社
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-6-5
TEL:0467-33-4210 FAX:0467-33-4212
<http://www.atopico.com/> info@atopico.com